



2024年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

2024年2月7日

上場会社名 株式会社ジャパンエンジンコーポレーション 上場取引所 東
コード番号 6016 URL <https://www.j-eng.co.jp/>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 川島 健
問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役 (氏名) 柴田 健 TEL 078-949-0800
四半期報告書提出予定日 2024年2月7日 配当支払開始予定日 -
四半期決算補足説明資料作成の有無: 無
四半期決算説明会開催の有無: 無

(百万円未満切捨て)

1. 2024年3月期第3四半期の業績 (2023年4月1日～2023年12月31日)

(1) 経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第3四半期	14,462	23.3	1,411	341.4	1,643	266.2	1,137	124.9
2023年3月期第3四半期	11,726	20.8	319	△2.8	448	38.4	505	69.1

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第3四半期	407.06	-
2023年3月期第3四半期	180.97	-

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年3月期第3四半期	25,465	8,373	32.9
2023年3月期	20,415	7,343	36.0

(参考) 自己資本 2024年3月期第3四半期 8,373百万円 2023年3月期 7,343百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期	-	12.00	-	28.00	40.00
2024年3月期	-	30.00	-	-	-
2024年3月期 (予想)	-	-	-	85.00	115.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無: 有

3. 2024年3月期の業績予想 (2023年4月1日～2024年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	20,700	35.8	1,900	329.8	3,100	354.5	2,300	184.4	822.95

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無: 有

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2024年3月期3Q	2,800,000株	2023年3月期	2,800,000株
② 期末自己株式数	2024年3月期3Q	5,252株	2023年3月期	5,080株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2024年3月期3Q	2,794,821株	2023年3月期3Q	2,794,968株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明.....	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	5
第3四半期累計期間	5
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6
3. その他	6
(1) 販売及び受注の状況	6

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期におけるわが国経済は、経済活動の正常化を背景に、企業収益の改善、消費の持ち直しなどで緩やかな景気回復の動きが見られました。一方で、欧米各国での金融引き締めや、中国経済の成長鈍化、原材料価格の高止まりや物価の上昇、不安定な国際情勢など、景気後退の懸念も内包し、先行き不透明な状況が継続しております。

当社と関連性が高いわが国海運・造船業界は、海運業界では、コンテナ船市況でインフレ長期化を背景にした消費の伸び悩みや新造船の竣工増により、需給の軟化が見られるものの、自動車運搬船やエネルギー輸送船などは、限定的な新造船竣工を背景に船腹需給の引き締め傾向が継続しており、市況は底堅く推移しております。また、造船業界では、将来の輸送需要の増加に備え、海運各社が省エネ・新鋭船の発注を進めたことで、先物納期の受注も顕在化しており、国内造船所は総じて豊富な手持ち工事量を確保しております。そして今後についても、老朽船の更新投資や、環境対応船の需要の高まりなどで、市況は強含みに推移することが予想されます。

このような状況下、当社は、外部環境の変化に柔軟に対応しながら、主機の受注拡大を具体化し、更にはグローバルライセンサーとして、ライセンス事業を強化することで、世界シェアの向上を目指しております。また、脱炭素の取り組みを進める顧客や業界、社会の要請に応えるべく、当社独自の技術力に磨きをかけ、次世代脱炭素燃料エンジンの開発にも並行して取り組み、気候変動課題の解決に資する革新製品の開発・製品化を進めることで、ESG経営の深化と持続的な企業価値の向上を目指しております。

当第3四半期における経営成績は、売上高は14,462百万円となり、前年同四半期比23.3%の増収、損益は、営業利益は1,411百万円となり、341.4%の増益、経常利益は1,643百万円となり、266.2%の増益、四半期純利益は1,137百万円となり、124.9%の増益となりました。なお、特別利益として補助金収入580百万円を計上、それによる固定資産圧縮を行ったことにより特別損失として固定資産圧縮損580百万円を計上しておりますが、損益に影響は与えておりません。

当第3四半期までの経営成績の推移を踏まえるとともに、通期の見通しを精査しました結果、通期の業績予想を上方修正することと致しました。当社業績は、主機関および修理・部品等の双方ともに、想定を上回って好調に推移しており、2023年11月9日に発表しました前回修正の予想を更に上回って着地する見通しです。また、これにあわせて、期末の配当についても、前回の予想から1株当たり15円増配となる85円を予想しております。この結果、配当金は、年間では115円になる見通しです。

上方修正の概要および経営成績の詳細は以下の通りです。

<上方修正の概要>

	売上高 (百万円)	営業利益 (百万円)	経常利益 (百万円)	当期純利益 (百万円)	1株当たり 当期純利益 (円・銭)
前回修正予想(A)	20,000	1,500	2,700	2,000	715.60
今回修正予想(B)	20,700	1,900	3,100	2,300	822.95
増減額(B-A)	700	400	400	300	—
増減率(%)	3.5%	26.7%	14.8%	15.0%	—
(ご参考) 前期実績値 (2023年3月期)	15,248	442	682	808	289.40

※経常利益および当期純利益は、当期は過去最高を予想しておりましたが、今回の上方修正で、そこから更に上乘せとなる見通しです。

<経営成績の詳細>

①売上高

豊富な受注残を有する主機関においては、すでに上期より、資機材のロット発注や先行部品組立などを推進し、生産増強への円滑な移行に向けた事前準備を取り進めておりました。下期からは、次世代脱炭素燃料エンジン対応

に向けた各種設備工事の順調な進捗に伴い、生産設備に対する影響が解消されたため、工場設備を全面稼働させ、生産量の拡大を図っております。

また、引き続き、当社UEエンジンの優れた環境・燃費性能を訴求する積極的な営業活動を展開することで、最新鋭省エネ主機関であるLSH型を中心に受注残高を積み上げており、販売単価においても、環境規制に適合する環境対応設備（EGR/SCR）の搭載、最先端の層状噴射技術を搭載したLSJ型機関の販売などで引き続き上昇基調を維持しております。更に国内ライセンサーへの製造委託も進捗させることで、増収に寄与しております。

修理・部品等では、アフターサービスで、船舶の高稼働運航が継続しており、当社は、きめ細かい客先対応を継続することで、電子制御部品や燃焼室部品を中心とする旺盛なメンテナンス需要を取り込みました。また、ライセンス事業では、当社UEエンジンブランドが市場の需要を捉えており、世界シェアを伸ばさせていくなかで、特に中国市場において、リプレース需要の見込まれる中国内航船マーケット向けを中心に、ライセンサーがUEエンジンを連続で受注、生産を進めております。当社は、ライセンサーに対してエンジンのキーコンポーネントを販売し、部品供給の売上を立てるとともに、エンジン完成に伴ってロイヤリティ収入を得ております。

②損益

主機関では、生産効率を向上させるべく、同型エンジンを連続で生産する工程を組んでおり、下期からの工場設備の全面稼働で、更に生産効率が改善しております。また、修理・部品等では、アフターサービス、ライセンス、部品供給の全ての事業領域が堅調に推移することで、増益に寄与しました。研究開発については、水素燃料エンジン実機の製造に向けた燃料供給設備・工場内試運転設備などを第4四半期に取得する予定であり、その際に研究開発費の計上が伸びますが、一方で、開発進捗に応じた交付金を受け取ることで、営業外収益として計上予定です。

当第3四半期における取り組みの主な成果の一つとして、当社は、アンモニア燃料アンモニア輸送船の建造に関わる契約を締結し、当社製アンモニア燃料エンジンの搭載が決定しました。本船は、世界初となる国産エンジンを搭載した船舶となり、2026年11月に竣工予定です。

当社は、次世代脱炭素燃料エンジンを、将来の業績伸長を牽引する原動力と位置付け、ファーストムーバーとして、競合他社に先駆けてアンモニアおよび水素燃料エンジンの開発・設計・製造に取り組んでおります。

これまで、アンモニア燃料エンジンでは、2022年9月にアンモニア燃料船の基本設計承認（AiP：Approval in Principle）を取得、2023年5月に試験機でアンモニア混焼運転を開始するなど、世界初の取組みを続けてまいりました。そして今般、アンモニア輸送船への搭載が決定したものであり、搭載されるエンジン実機は、2025年9月に完成予定です。また、同様に水素燃料エンジンでは、2023年10月に水素燃料船の基本設計承認（AiP）を世界で初めて取得しており、水素燃料噴射装置などを活用し、開発を進めております。エンジン実機は、2027年3月に完成予定です。

更に、開発に並行して、アンモニア・水素燃料エンジン実機を製造・試運転するための工場設備についても、当社工場内に建設を進めております。

2050年カーボンニュートラルの実現に向け、次代を拓く先端技術領域へ戦略的に先行投資を進めることで、次世代脱炭素燃料エンジンを開発・製造し、広く社会に実装する取組みを着実に進捗させております。

(2) 財政状態に関する説明

流動資産は、前事業年度末に比べ35.6%増加し、20,622百万円となりました。これは主として現金及び預金が799百万円増加、受取手形及び売掛金が1,684百万円増加、製品が2,265百万円増加、仕掛品が794百万円増加したことなどによるものであります。

固定資産は、前事業年度末に比べ7.1%減少し、4,842百万円となりました。これは主として有形固定資産が411百万円減少したことなどによるものであります。

この結果、総資産は、前事業年度末に比べ24.7%増加し、25,465百万円となりました。

流動負債は、前事業年度末に比べ32.4%増加し、13,834百万円となりました。これは主として電子記録債務が1,827百万円増加、前受金が1,457百万円増加したことなどによるものであります。

固定負債は、前事業年度末に比べ24.1%増加し、3,257百万円となりました。これは主として長期借入金が677百万円増加したことなどによるものであります。

この結果、負債合計は、前事業年度末に比べ30.8%増加し、17,092百万円となりました。

純資産合計は、前事業年度末に比べ14.0%増加し、8,373百万円となりました。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年3月期の通期業績予想は、上方修正するとともに、期末の配当予想を増配に修正しております。変更内容につきましては、本日（2024年2月7日）公表しました「通期業績予想の修正 及び 期末配当予想の修正（増配）に関するお知らせ」をご参照下さいます様、お願い致します。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2023年3月31日)	当第3四半期会計期間 (2023年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,262,084	5,061,871
受取手形及び売掛金	2,602,420	4,287,049
電子記録債権	519,381	345,225
製品	2,574,329	4,839,783
仕掛品	3,468,814	4,262,872
原材料及び貯蔵品	1,334,964	1,391,237
その他	444,317	436,844
貸倒引当金	△1,302	△1,925
流動資産合計	15,205,010	20,622,958
固定資産		
有形固定資産	4,046,422	3,634,937
無形固定資産	96,803	138,334
投資その他の資産		
その他	1,069,813	1,071,948
貸倒引当金	△2,392	△2,392
投資その他の資産合計	1,067,420	1,069,556
固定資産合計	5,210,646	4,842,827
資産合計	20,415,657	25,465,786
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,481,264	1,705,372
電子記録債務	3,093,116	4,920,803
1年内返済予定の長期借入金	282,992	353,024
未払法人税等	199,839	230,342
賞与引当金	163,697	86,278
製品保証引当金	77,316	122,431
受注損失引当金	2,231,000	3,044,000
前受金	1,083,758	2,541,056
その他	1,833,095	831,677
流動負債合計	10,446,080	13,834,984
固定負債		
長期借入金	1,969,108	2,646,810
退職給付引当金	250,412	268,180
資産除去債務	89,424	87,220
その他	316,871	255,339
固定負債合計	2,625,817	3,257,551
負債合計	13,071,897	17,092,535
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,215,000	2,215,000
資本剰余金	1,709,750	1,709,750
利益剰余金	3,384,999	4,360,550
自己株式	△8,182	△8,856
株主資本合計	7,301,567	8,276,444
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	42,192	96,807
評価・換算差額等合計	42,192	96,807
純資産合計	7,343,760	8,373,251
負債純資産合計	20,415,657	25,465,786

(2) 四半期損益計算書
(第3四半期累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)	当第3四半期累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)
売上高	11,726,438	14,462,614
売上原価	9,799,208	10,959,494
売上総利益	1,927,230	3,503,119
販売費及び一般管理費	1,607,518	2,091,919
営業利益	319,711	1,411,200
営業外収益		
受取利息	6	6
受取配当金	3,765	4,256
補助金収入	128,860	232,624
その他	29,080	17,521
営業外収益合計	161,713	254,410
営業外費用		
支払利息	15,774	12,512
為替差損	15,001	8,206
その他	1,983	1,677
営業外費用合計	32,758	22,396
経常利益	448,666	1,643,214
特別利益		
固定資産売却益	833	2,018
補助金収入	—	580,279
抱合せ株式消滅差益	76,412	—
その他	—	1,049
特別利益合計	77,246	583,347
特別損失		
固定資産除却損	0	2,101
固定資産圧縮損	—	580,279
移設関連費用	—	55,627
特別損失合計	0	638,008
税引前四半期純利益	525,913	1,588,553
法人税、住民税及び事業税	153,192	383,871
法人税等調整額	△133,079	67,030
法人税等合計	20,112	450,902
四半期純利益	505,800	1,137,651

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

3. その他

(1) 販売及び受注の状況

当社の事業は、船用内燃機関及びこれらの付随業務の単一セグメントであるため、販売及び受注の状況については、事業区分別に記載しております。

なお、2023年3月期第1四半期より個別業績を表示しておりますため、前年同期間についても個別業績（参考値）を記載しております。

① 販売状況

当第3四半期累計期間における販売実績を事業区分別に示すと、以下のとおりであります。

(単位：千円、千円未満切捨て)

事業区分	前第3四半期累計期間		当第3四半期累計期間		(参考)	
	自 2022年 4月 1日 至 2022年12月31日		自 2023年 4月 1日 至 2023年12月31日		(2023年3月期)	
	金額	構成比 (%)	金額	構成比 (%)	金額	構成比 (%)
船用内燃機関	5,659,918	48.3	5,674,189	39.2	6,437,718	42.2
修理・部品	6,066,520	51.7	8,788,425	60.8	8,810,885	57.8
合計	11,726,438	100.0	14,462,614	100.0	15,248,603	100.0

(注) 上記の金額には消費税は含まれておりません。

② 受注状況

当第3四半期累計期間における受注実績を事業区分別に示すと、以下のとおりであります。

(単位：千円、千円未満切捨て)

事業区分	前第3四半期累計期間		当第3四半期累計期間		(参考)		
	自 2022年 4月 1日 至 2022年12月31日		自 2023年 4月 1日 至 2023年12月31日		(2023年3月期)		
	金額	構成比 (%)	金額	構成比 (%)	金額	構成比 (%)	
受注高	船用内燃機関	8,504,919	53.1	17,258,689	70.1	11,345,119	50.9
	修理・部品	7,502,702	46.9	7,356,021	29.9	10,963,898	49.1
	合計	16,007,621	100.0	24,614,710	100.0	22,309,017	100.0
受注残高	船用内燃機関	10,357,800	72.4	24,004,700	88.1	12,420,200	72.7
	修理・部品	3,945,277	27.6	3,231,473	11.9	4,663,875	27.3
	合計	14,303,077	100.0	27,236,173	100.0	17,084,075	100.0

(注) 1. 上記の金額には消費税は含まれておりません。

2. 受注高は期間中の受注高によっております。また、受注残高は期間末日時点での受注残高によっております。